

過去の提案・提言(概要)

過去の提案・提言について、5つのまちづくりの基本原則に併せて示すと次のとおりとなります。

市民主権

■第1期

- 市民投票条例の創設

■第2期

- ・市民投票条例制定へ向けての
具体的方策の検討

■第4期

- ・住民投票条例骨子案について

持続的発展

■第1期

- 持続的発展のための条例づくりの検討
- 効率的な財政運営の実施
- 市民等と補助金等を検討する場の設置
- 市民等と補助金を検証評価する仕組の
整備
- 補助金の中に優良事例奨励制度の創設

■第2期

- ・持続的発展のための条例づくり
- 効果的な財政運営を行う上での
事業仕分けの実施

役割分担と協働

■第1期

- 市民等が参加する協働型の研修の提供
- 事業の見直しとモデルケースづくり
- 協働型活動を支援する地域組織創設
- お助け協力ネットワークの仕組み検討
- 事業者等からの部局横断的提案制度の創出
- 協働指針の策定
- 市民版総合計画の策定
- 官民協働研修の実施
- 自治基本条例大賞の創設

■第2期

- ・米原市に適した協働の指針づくり
- ・市民相互のお助けネットワークづくりの検討
- テーマ性を持った市民提案制度の構築
- 地域創造支援事業の機能の充実

■第5期

- 市民のまちづくり活動活性化に向けた、
目指すべき活動の拠点機能について

情報の共有

■第1期

- 予算折衝関係会議や説明の情報発信
- 計画段階からの課題共有
- 予算情報を市民に伝える中間役の創出
- 予算要求書に条例対応項目を創出
- 市議会等の提案機能の強化

■第2期

- ポイントをおさえた市民目線の情報公開
- 利害関係者を意識した計画段階からの
課題共有と優先順位決定の仕組みづくり

■第3期

- 親しみのある広報への転換の推進
- 自治会における広報誌の発行を推進
- 情報モニターもしくはこれにかわる
の導入

多様性の尊重

■第2期

- 多様性を尊重した
男女共同参画機会の創出